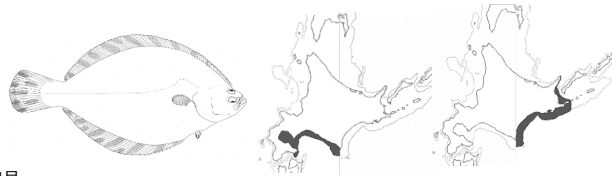


# 20. マツカワ

## 主な漁業と漁期

沿岸漁業（刺し網、定置網、  
底建網、こぎ網）：4～12月  
沖底漁業（常磐以北の太平洋）：1～4月

※現在、漁獲物のほとんどは、人工種苗放流によるものです。



えりも以西

えりも以东

## 北海道～常磐以北 太平洋海域

### 生態

#### ◆分布・回遊

北海道では大部分が太平洋海域で漁獲されますが、他海域でも若干漁獲があります。本州では主に常磐以北の太平洋沿岸に分布しています。分布水深は水深5～400mです。成熟の進行に伴い、北海道沿岸から産卵場がある常磐沖（福島・茨城県）まで南下し、産卵後は再び北海道沿岸へ北上します。

#### ◆産卵期・産卵場

- ◎産卵期は2～4月で、盛期は3月です。
- ◎産卵場：本州常磐沖の水深250～300m、水温4～8℃の海域です。

#### ◆成長・成熟

(4月時点)

	全長(cm)		体重(g)	
	オス	メス	オス	メス
1歳	17	17	64	56
2歳	30	30	354	370
3歳	38	41	798	979
4歳	44	49	1,278	1,794
5歳	48	56	1,701	2,709
6歳	51	61	2,053	3,650
7歳		65		4,543
8歳		69		5,348

\*) 2007～2018年の測定資料より

\*) 加齢の基準日：4月1日

#### ◎成熟年齢・全長

- ・オス：2歳から成熟を開始し、全長39cm以上、3歳以上で半数が成熟します。
- ・メス：3歳から成熟を開始し、全長54cm以上、4歳以上で半数が成熟します。

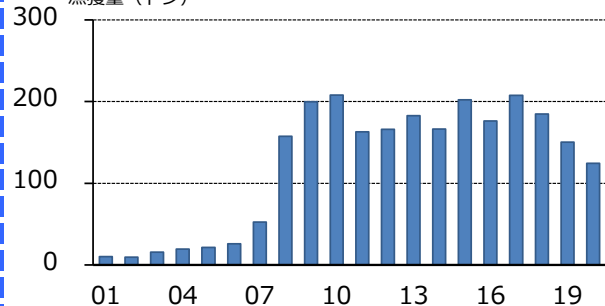
### 資源評価

[評価年] 4月～翌3月

[資源水準の指標] 1歳以上の資源重量

2020年度の漁獲量は124トンで前年より減少し、2008年度以降で最低となりました。これは、2017年度の種苗放流数が著しく少なく、漁獲の主体となる3歳魚が大幅に減少したためです。2020年度の資源水準は中水準で、翌年にかけての動向は、2歳・3歳の資源重量が例年の水準まで回復すると見込まれることから、増加と判断されました。種苗放流事業の経済性向上、自然再生産の増大等が課題と考えられます。

漁獲量(トン)



2020年度  
の水準



中水準

2021年度  
の動向



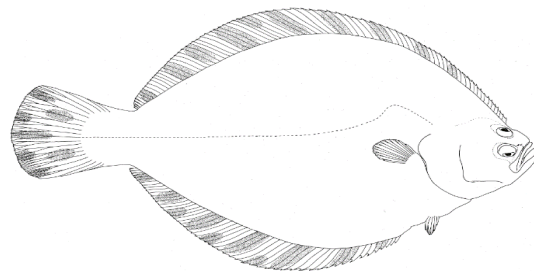
増加

### 資源の維持・増大のために！

#### 資源管理の現状(主なもの)

○許可の制限条件（自主規制含む）等

えりも以西では、共同漁業権行使規則や海区委員会指示、資源管理協定により、全長35センチ未満の漁獲があった場合は、海中還元することを定めています。また、えりも以东でも、十勝及び釧路海域で自主的に同様の措置を行っています。



☆資源の有効利用のため、現状の取り組みの継続が必要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係  
北海道立総合研究機構 栽培水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477  
電話 0143-22-2327